



目的

東ソー株式会社南陽事業所が、林地残材から生産された燃料用チップを山口県森林組合連合会から受け入れ、自家発電燃料として有効活用するとともに、燃料用チップの受入量に応じて拠出する基金を活用し、人工林の伐採後の再造林を促進することで、森林の有する多面的機能の維持と、森林資源の循環による林業振興を図ります。

構成員

東ソー株式会社、山口県森林組合連合会、和泉産業株式会社

支援対象

- ・山口県の補助事業（造林事業等）を活用した再造林であること
- ・スギ・ヒノキのコンテナ苗による植栽であること
- ・個人が所有する森林であること

支援額

コンテナ苗と裸苗の価格差の1/2が支援上限となります。

（参考）支援額算定

スギのコンテナ苗を使用し、2,000本/haの再造林を1ha実施した場合

価格差101.7円/本×2,000本/ha×1/2×1ha=101,700円

※価格差は苗木価格によって変動します。

※申請額が予算を上回る場合は、按分して支援金の額を決定します。

※1施行地の支援額が5,000円未満となった場合は、5,000円となります。